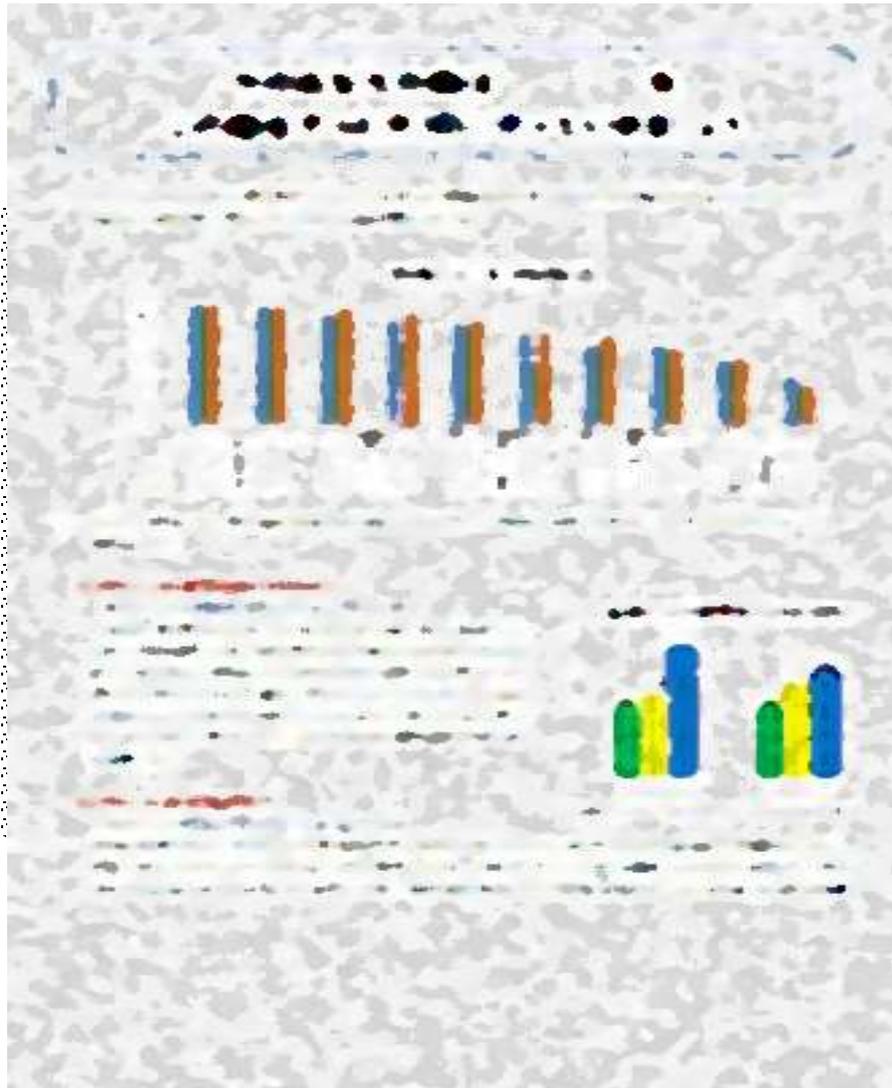


# 「あなたの歯は何本？」事業アンケート調査

## 報告書

<平成29年度 小樽市民の歯科口腔保健を考える会事業>



平成30年6月

小樽市保健所

## はじめに

小樽市保健所主幹 中村悦子

平成29年度「あなたの歯は何本？」事業の、アンケート集計結果をまとめましたのでお送りします。

この事業では、若い方から高齢の方まで、アンケートに協力していただきました。これは受診者の方々のみならず、小樽市歯科医師会、北海道歯科衛生士会小樽支部の御協力によるものであり、御協力くださった皆様に感謝申し上げます。

この事業は、小樽市民の現在歯が歯科疾患実態調査より各年代で少ない現状と、歯の数は一般の方々にもわかりやすい口腔の健康指標となること、歯数と健康に関するエビデンスが存在することなどから、始めたものです。

歯科医院で実施するため、すでに歯科に来院している人を対象としても仕方が無いと考えがちですが、定期健診を受けていない方も治療には来院するわけですので、来院者に情報伝達することから始めても良いと思っています。

小樽市では平成23年度と平成28年度に市民の健康意識調査により、定期的受診をしているかどうかを調べました。定期健診受診者は、平成23年度34.4%でしたが、平成28年度には、39.9%に上昇しています。今後「あなたの歯は何本？」事業が、定期健診受診者の増加につながることを期待します。

今後とも、地域の重要な医療資源である歯科医師会、歯科衛生士会と連携を図りながら事業を実施していきたいと思っています。

# 目次

1. はじめに	
2. 受診者アンケート	
(1) アンケート回収状況	1
(2) -1 回答者の概要	1
(2) -2 集計結果	
問1 歯の本数	2
年代別歯数割合グラフ	3
問2 歯を失わないように注意していたこと	4
問3 あなたの普段の食事の様子	5
年齢区分別人数・割合	6
問4 抜歯したところの治療の状態	7
男女別人数 年齢区分別人数	8
歯数別人数	9
3. 事業協力歯科医院アンケート	
(1) アンケート配布状況	10
(2) アンケート回収状況	10
(3) 集計結果	
問1 回答者職種	10
問2-1 事業負担感	10
問2-2 事業リーフレット内容について	11
問3 定期健診勧奨に有効だと思う情報	12
問4 今後の協力	13
問5 意見・感想	13
4. 資料	
(1) リーフレット	
(2) 受診者アンケート本体	
(3) 事業協力歯科医院アンケート本体	

## 平成29年度「あなたの歯は何本？」事業アンケート

### 1. 受診者アンケート

【方法】この事業に協力する歯科医院の受診者に対し、歯科医院で資料（保健所作製リーフレット）に基づき説明後、対象者にアンケートを実施

【実施時期】平成29年9月より平成30年3月

#### (1) アンケート回収状況

小樽市歯科医師会会員診療所79か所のうち協力歯科医院47か所についてアンケートを依頼した。

協力歯科医院割合 59.5%

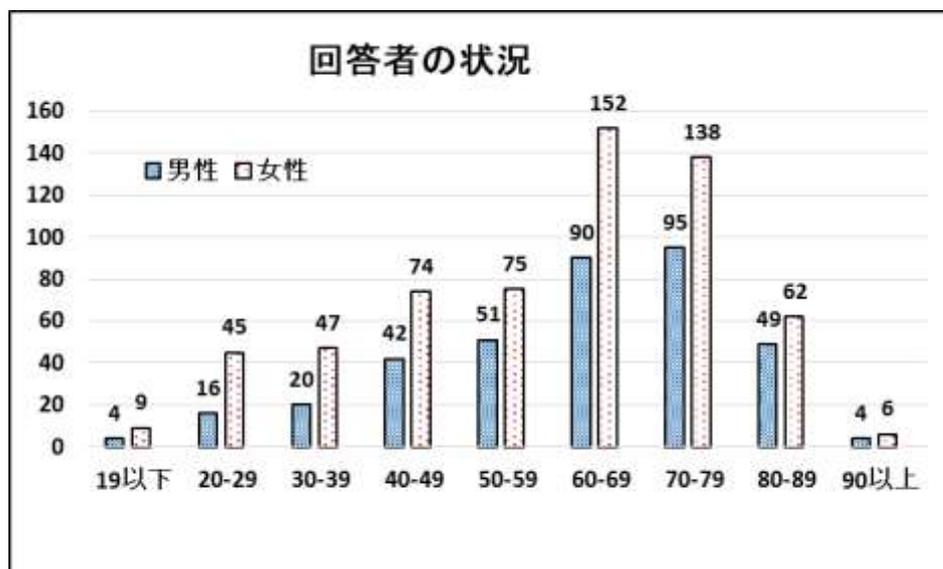
アンケート回収数 1005件

集計対象数（年齢と性別に欠損値ないもの） 979件

#### (2) - 1 回答者の概要

男性	371人
女性	608人
計	979人

19歳以下	13人
20～29歳	61人
30～39歳	67人
40～49歳	116人
50～59歳	126人
60～69歳	242人
70～79歳	233人
80～89歳	111人
90歳以上	10人
計	979人



(2) - 2 集計結果

問1 あなたの歯は何本ですか？

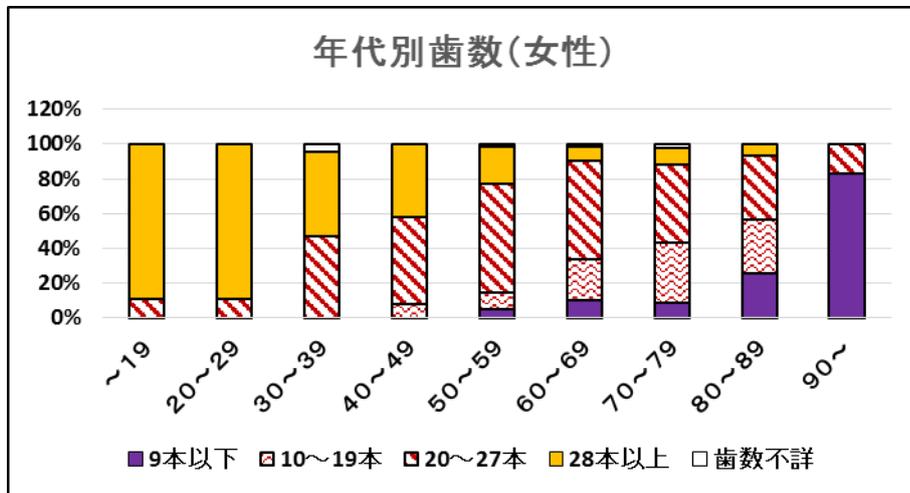
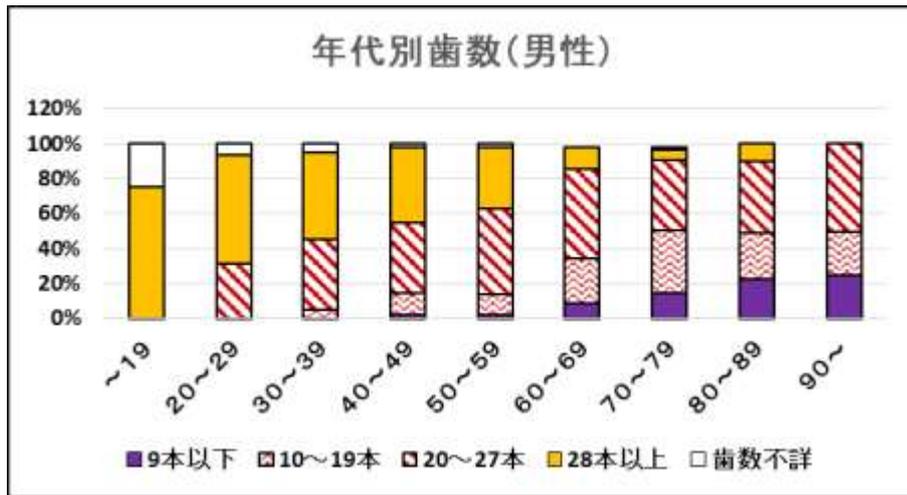
●年齢、男女、歯数別（人数）

年齢区分	性別	0本	1～9本	10～19本	20～27本	28本以上	歯数不詳	合計
～19	男	0	0	0	0	3	1	4
	女	0	0	0	1	8	0	9
20～29	男	0	0	0	5	10	1	16
	女	0	0	0	5	40	0	45
30～39	男	0	0	1	8	10	1	20
	女	0	0	0	22	23	2	47
40～49	男	0	1	5	17	18	1	42
	女	0	0	6	37	31	0	74
50～59	男	0	1	6	25	18	1	51
	女	0	4	7	47	16	1	75
60～69	男	2	8	23	46	11	0	90
	女	0	15	36	86	13	2	152
70～79	男	2	14	34	38	6	1	95
	女	0	12	48	62	13	3	138
80～89	男	1	10	13	20	5	0	49
	女	4	12	19	23	4	0	62
90～	男	0	1	1	2	0	0	4
	女	1	4	0	1	0	0	6
合計	男	5	35	83	161	81	6	371
	女	5	47	116	284	148	8	608

●性、年齢、歯数別人数割合（%）

年齢 歯数	男性					女性				
	9本以下	10～19本	20～27本	28本以上	歯数不詳	9本以下	10～19本	20～27本	28本以上	歯数不詳
～19	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%
20～29	0.0%	0.0%	31.3%	62.5%	6.3%	0.0%	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%
30～39	0.0%	5.0%	40.0%	50.0%	5.0%	0.0%	0.0%	46.8%	48.9%	4.3%
40～49	2.4%	11.9%	40.5%	42.9%	2.4%	0.0%	8.1%	50.0%	41.9%	0.0%
50～59	2.0%	11.8%	49.0%	35.3%	2.0%	5.3%	9.3%	62.7%	21.3%	1.3%
60～69	8.9%	25.6%	51.1%	12.2%	0.0%	9.9%	23.7%	56.6%	8.6%	1.3%
70～79	14.7%	35.8%	40.0%	6.3%	1.1%	8.7%	34.8%	44.9%	9.4%	2.2%
80～89	22.4%	26.5%	40.8%	10.2%	0.0%	25.8%	30.6%	37.1%	6.5%	0.0%
90～	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%

● 年代別歯数の割合グラフ



- ・年代が上がるにつれて、男女とも歯数20本以上有する者の割合は減少する。男性の場合には、30~39歳から20本未満の者が出現するが、70歳代以降では20本未満者の割合はあまり変わらない。一方女性は40~49歳で20本未満者が出現し、その後増加を続ける。
  - ・28本以上ある者の割合は、男女共に80~89歳で6~10%存在する。
- ちなみに、60歳の者14名の平均は19.93本。80歳の者21名の平均は20.33本。

問2 歯を失わないように注意していたことはありますか？（重複回答）

●男女別（人数）

性別	定期健診	健診・清掃	セルフケア	その他	不詳	合計
男	119	98	60	81	24	382
女	191	191	153	74	34	643
合計	310	289	213	155	58	1025

性別	その他155件の内訳			
	歯磨きなど	何もしていない	その他のこと	コメントなし
男	8	24	9	40
女	12	16	7	39
合計	20	40	16	79

●年齢区分別（人数）

年齢	定期健診	健診・清掃	セルフケア	その他	不詳	合計
～19	8	1	1	1	2	13
20～29	23	7	18	13	3	64
30～39	20	11	19	14	4	68
40～49	26	34	31	21	7	119
50～59	45	37	21	21	8	132
60～69	65	85	51	36	14	251
70～79	76	83	48	31	13	251
80～89	42	29	23	17	6	117
90～	5	2	1	1	1	10
合計	310	289	213	155	58	1025

●歯数別（人数）

歯数	定期健診	健診・清掃	セルフケア	その他	不詳	合計
9本以下	25	18	14	23	15	95
10～19本	64	46	39	44	15	208
20～27本	146	145	100	57	20	468
28本以上	74	74	57	28	4	237
不詳	1	6	3	3	4	17
合計	310	289	213	155	58	1025

- ・歯を維持するために気をつけていることは、「定期健診」、「歯科医院での健診・清掃」「セルフケア」の順に多い。
- ・男女別で見ると、男性は「定期健診」は多いが「歯科医院での健診・清掃」まで選ぶ者はやや少ない。
- ・年齢別では、60～70歳代で、「歯科医院での健診・清掃」が多くなっている。
- ・歯数別で見ると、20本以上ある場合には「定期健診」と「歯科医院での健診・清掃」がほぼ同数である。現在歯が9本以下では歯を維持するための行動として「定期健診」の次に「その他」を選ぶものが多くなり、その他の内容として記入があるものでは、「何もしていない」が多い。

問3 あなたの普段の食事の様子について当てはまるものを一つ選んでください。

- ア. 何でもよく噛める
- イ. 噛めないものがある
- ウ. あまりよく噛めない
- エ. その他

●男女別（人数）

	何でも噛める	噛めないものあり	あまり噛めない	その他	不詳	合計
男	254	83	29	4	1	371
女	409	172	23	4	0	608
合計	663	255	52	8	1	979

●男女別（割合）

	何でも噛める	噛めないものあり	あまり噛めない	その他	不詳	合計
男	68.5%	22.4%	7.8%	1.1%	0.3%	100%
女	67.3%	28.3%	3.8%	0.7%	0%	100%
合計	67.7%	26.0%	5.3%	0.8%	0.1%	100%

●年齢区分別（人数）

年齢	何でも噛める	噛めないものあり	あまり噛めない	その他	不詳	合計
～19	11	2	0	0	0	13
20～29	56	4	0	1	0	61
30～39	58	6	3	0	0	67
40～49	89	22	3	1	1	116
50～59	89	25	9	3	0	126
60～69	140	84	15	3	0	242
70～79	152	69	12	0	0	233
80～89	66	37	8	0	0	111
90～	2	6	2	0	0	10
合計	663	255	52	8	1	979

●年齢区分別（割合）

年齢	何でも噛める	噛めないものあり	あまり噛めない	その他	不詳	合計
～19	84.6%	15.4%	0%	0%	0%	100%
20～29	91.8%	6.6%	0%	1.6%	0%	100%
30～39	86.6%	9.0%	4.5%	0.0%	0%	100%
40～49	76.7%	19.0%	2.6%	0.9%	0.9%	100%
50～59	70.6%	19.8%	7.1%	2.4%	0%	100%
60～69	57.9%	34.7%	6.2%	1.2%	0%	100%
70～79	65.2%	29.6%	5.2%	0%	0%	100%
80～89	59.5%	33.3%	7.2%	0%	0%	100%
90～	20.0%	60.0%	20.0%	0%	0%	100%
全体	67.7%	26.0%	5.3%	0.8%	0.1%	100%

●歯数別（人数）

歯数	何でも噛める	噛めないものあり	あまり噛めない	その他	不詳	合計
9本以下	28	45	17	2	0	92
10～19本	77	95	24	2	1	199
20～27本	334	99	9	3	0	445
28本以上	214	13	1	1	0	229
不詳	10	3	1	0	0	14
合計	663	255	52	8	1	979

●歯数別（割合）

歯数	何でも噛める	噛めないものあり	あまり噛めない	その他	不詳	合計
9本以下	30.4%	48.9%	18.5%	2.2%	0.0%	100.0%
10～19本	38.7%	47.7%	12.1%	1.0%	0.5%	100.0%
20～27本	75.1%	22.2%	2.0%	0.7%	0.0%	100.0%
28本以上	93.4%	5.7%	0.4%	0.4%	0.0%	100.0%

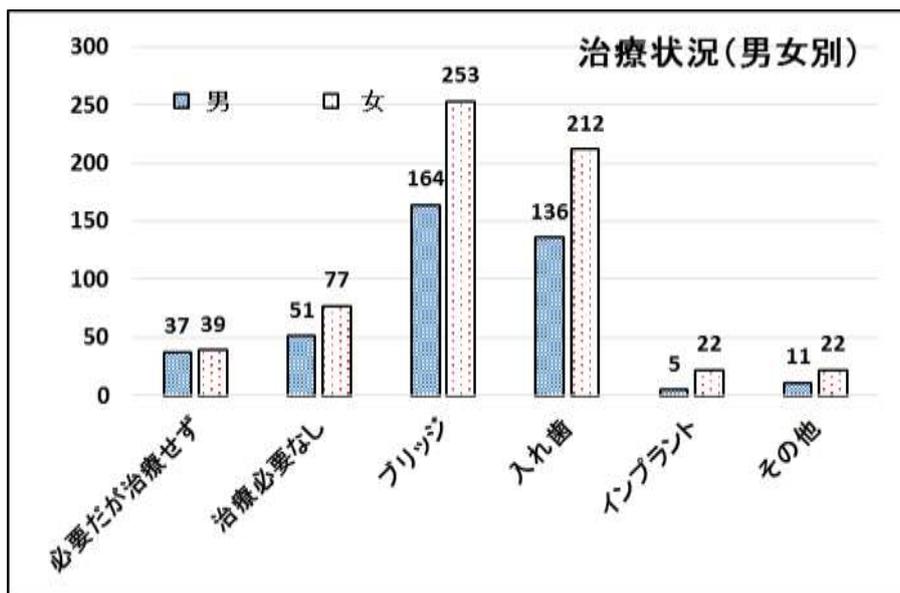
- ・男女別、年齢別、歯数別のどれも「何でも噛める」が最も多い。
- ・男女別では、女性のほうが噛めないものがあると感じている。
- ・年齢から見ると、40歳代で「噛めないものがある」者が20%近くなり、その後年齢と共に上昇する。
- ・歯数で見ると、20～27本でも「噛めないものがある」と解答した者が22.2%いる。治療途中であることから、噛みにくい状態があり、このような結果になったものと思われるが、20本以上あっても「噛めないものがある」と回答している者がいることから、歯数だけでなく、咬合や歯肉の状況などが関係している可能性がある。

問4 抜歯経験がある方に伺います。抜歯したところの治療の状態を下から選んでください。  
複数抜歯している場合には、二つ以上選んでよいです。（重複可）

- ア. 抜歯後、治療が必要であったが、治療せず歯がないままである。
- イ. 抜歯後、歯を入れる必要が無かったので、そのままにしている。
- ウ. 抜歯後、ブリッジにしている。
- エ. 抜歯後、入れ歯を入れている。
- オ. 抜歯後、インプラントにしている。
- カ. その他

●男女別（人数）

性別	必要だが治療せず	治療必要なし	ブリッジ	入れ歯	インプラント	その他	記載なし	合計
男	37	51	164	136	5	11	56	460
女	39	77	253	212	22	22	118	743
合計	76	128	417	348	27	33	174	1203



●年齢区分別（人数）

年齢	必要だが治療せず	治療必要なし	ブリッジ	入れ歯	インプラント	その他	記載なし	合計
～19	1	0	0	0	0	0	12	13
20～29	3	11	6	0	0	7	35	62
30～39	6	14	19	1	3	4	27	74
40～49	11	19	46	11	2	9	32	130
50～59	15	17	64	24	6	4	23	153
60～69	25	36	121	97	10	6	16	311
70～79	8	22	116	135	5	2	22	310
80～89	5	9	43	71	1	1	7	137
90～	2	0	2	9	0	0	0	13
合計	76	128	417	348	27	33	174	1203

● 歯数別（人数）

歯数	必要だが 治療せず	治療必要 なし	ブリッジ	入れ歯	インプラント	その他	記載なし	合計
9本以下	4	1	24	89	1	0	0	119
10～19本	18	9	95	160	7	1	2	292
20～27本	50	76	269	95	19	14	20	543
28本以上	4	38	23	1	0	18	148	232
不詳	0	4	6	3	0	0	4	17
合計	76	128	417	348	27	33	174	1203

- ・対象者は歯科医院へ通院しているので、治療は概ねされているが、治療が必要であっても治療していない者も若干存在する。
- ・治療内容は、30～70歳代でブリッジが多い。入れ歯は70～80歳代が多い。
- ・歯数別に見ると、「治療必要だが治療せず」は、歯数20～27本の者に多い。

## 2. 事業協力歯科医院アンケート

### (1) アンケート配布状況

あなたの歯は何本？事業終了後に、協力歯科医院47件のうち45件を対象として実施  
各協力歯科医院につき5枚ずつアンケート用紙を配布

### (2) アンケート回収状況

アンケートはFAX返送により回収した。回収枚数は39枚。  
各歯科医院での対象者数が不明であることから、回収率の算出は行わない。

### (3) 集計結果

問1 アンケート回答者の職種はなんですか？

歯科医師	16
歯科衛生士	18
歯科助手など	5
事務職など	0
計	39人

問2-1 事業リーフレットを説明する際の、負担感10点満点では何点ですか？  
負担感なしを0点、最高点を10点とします。

#### ●点数区分別人数

	0点	1～3点	4～6点	7～9点	10点
歯科医師	3	3	6	3	1
歯科衛生士	3	4	8	3	0
歯科助手ほか	2	0	1	2	0

#### ●職種別平均点

	平均点
歯科医師	4.25
歯科衛生士	4.28
歯科助手ほか	4.60

- ・点数区分では、4～6点が最も多いが、0点（負担感なし）との回答も見られた。
- ・リーフレットの説明などでは、回答の平均は5点を下回り、負担感の中くらいである。

問2-2 事業リーフレットの内容について、それぞれ点数を付けてください。  
それぞれの最高点を10点とします。

① 年齢別の歯数平均グラフについての評価（平均点）

	内容	見やすさ	説明しやすさ
歯科医師	8.53	7.93	8.00
歯科衛生士	8.72	8.33	8.33
歯科助手ほか	8.00	8.40	6.80

② 歯を失うことと認知症や寿命についての評価（平均点）

	内容	見やすさ	説明しやすさ
歯科医師	8.27	7.93	7.73
歯科衛生士	7.94	7.39	7.50
歯科助手ほか	8.00	7.80	7.00

③ セルフケアやプロケアを勧める内容についての評価（平均点）

	内容	見やすさ	説明しやすさ
歯科医師	8.40	7.93	7.87
歯科衛生士	8.78	8.56	8.50
歯科助手ほか	8.00	7.80	7.00

④ メンテナンスや治療を勧める内容についての評価（平均点）

	内容	見やすさ	説明しやすさ
歯科医師	8.07	7.53	7.53
歯科衛生士	8.33	7.93	8.00
歯科助手ほか	8.00	7.80	7.00

・リーフレットの内容については、概ね賛同を得られたようである。見やすさや、説明しやすさについては、常に工夫していく必要がある。

問3 定期健診を勧める際に有効だと思う情報についての記載

分類	意見
視覚的情報について	<p>写真があると説明しやすい。</p> <p>患者アンケートに修復物の写真があると良い。</p> <p>写真など視覚に訴えるものがわかりやすい。</p> <p>定期健診受診者の状態が良いなどの説明画像など、視覚に訴える。</p>
歯と全身の関係について	<p>歯と全身の関係、大病や死に関係するシビアな内容</p> <p>歯と病気についての具体的情報</p> <p>全身との関係</p> <p>認知症が進行した人の話</p> <p>高齢者に対して認知症や寿命の話は有効</p> <p>誤嚥性肺炎予防に口腔ケアが有効であるという情報</p>
定期健診について	<p>定期受診の重要性</p> <p>定期的な歯石除去の重要性やその際に早期発見できるなど</p> <p>歯を維持するための定期健診</p> <p>予防や早期発見、治療の重要性を理解してもらう。</p> <p>症状が軽いうちに治療できますなど</p> <p>歯を残すための除石の必要性</p>
歯の大切さについて	<p>健全な歯の重要さ</p> <p>治療中に歯の大切さを伝えている。</p>
具体性について	<p>歯周病の具体的な進行を示す。</p> <p>PMTC を体験しないと説明だけでは難しい。</p>

問4 今後、歯科医院に対しリーフレット配布などの協力をお願いする事についての意見

- A. リーフレット配布や説明など協力できる。
- B. リーフレットの配布くらいなら協力できる。
- C. リーフレットを待合室に設置するくらいの協力はできる。
- D. 協力できない。
- E. その他

●職種別回答人数

	A 配布や説明など	B 配布くらい	C 待合室設置くらい	D 協力できない	E その他
歯科医師	12	3	1	0	0
歯科衛生士	6	4	7	0	1*
歯科助手ほか	2	0	2	1	0

\*常にリーフレットがあると良い

・リーフレットの配布については、今後も何らかの協力をお願いする機会があると思われるが、配布や設置について協力的な意見が得られた。

問5 平成29年度事業についての感想や意見

- ・前回より負担が少なかった。
- ・定期健診受診者の啓蒙に役立った。
- ・リーフレットにある視点は良いと思う。
- ・グラフが見やすくなり説明しやすくなったので、患者さんの理解度が高まった。
- ・グラフや写真など前回よりわかりやすい。
- ・前回のほうがわかりやすかった。
- ・アンケートを取る負担はあるが、有効なツールと思う。
- ・後期高齢者の説明に時間をとられ、リーフレット説明ができなかった。
- ・人手が少なく数を集められなかった。
- ・忙しかったので十分協力できたとは思っていません。
- ・歯科医療者も興味が湧く項目がほしい。
- ・高齢で歯数が少ない人にはネガティブな情報になり気を使う。
- ・関心の高い患者が多く協力的だった。
- ・口腔状態や意識はどの年代でも良いか悪いかの2極分化が著しい。
- ・今後もお役に立てればと思います。